

東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

今号(第9号)のトピックス

****流行注意報発出中****

- 49週(12月2日～12月8日)のインフルエンザ患者報告数は4,288人、
定点当たり 10.36人(去年同期 定点当たり 1.57人)
- 49週のインフルエンザ様疾患による集団発生事例は205件
- 全国の定点当たり患者報告数は定点当たり 9.52人

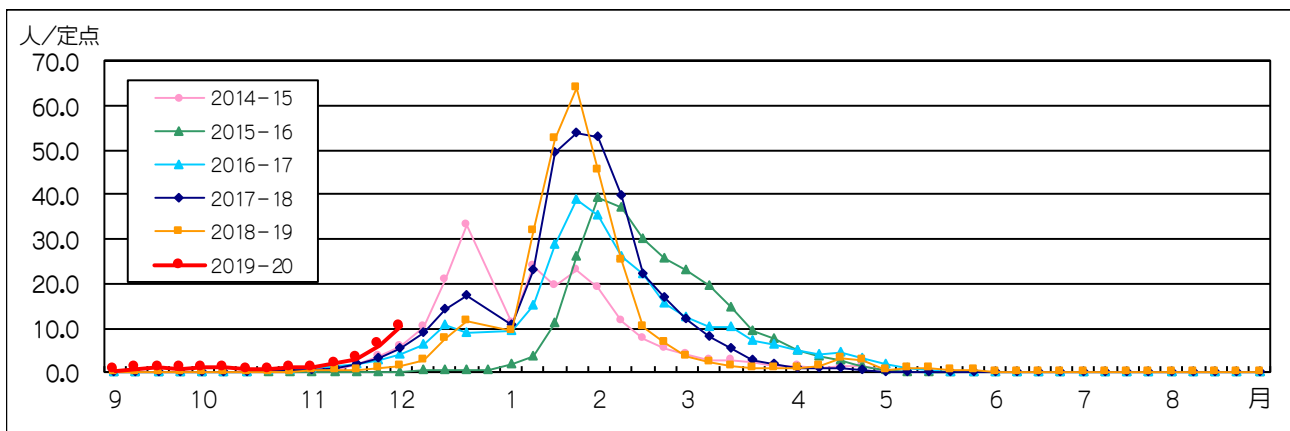


図1. インフルエンザ定点*当たり患者報告数の推移(東京都)

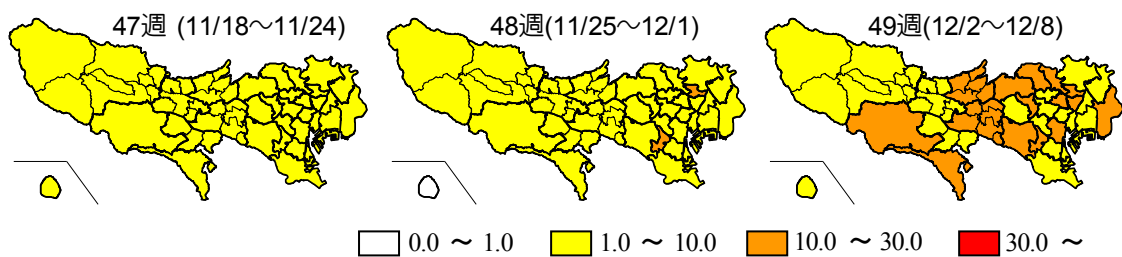


図2. 保健所別定点当たり患者報告数(47～49週)

1 インフルエンザ患者発生状況

第49週(12月2日～12月8日)

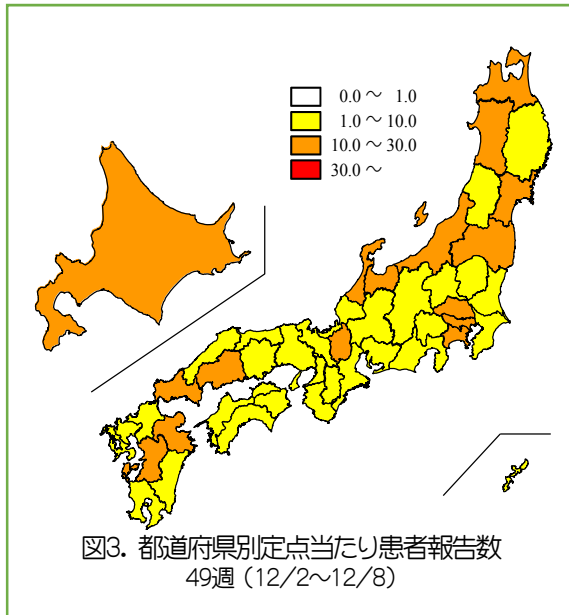
【東京都】インフルエンザ定点*からの患者報告数は4,288人、定点当たり10.36人で、48週の定点当たり6.17人から増加しました(図1)。文京(20.00人/定点)、目黒区(16.25人/定点)、町田市(14.00人/定点)、多摩小平(13.55人/定点)をはじめとする15保健所管内で注意報レベルである

10人/定点を超えています(図2)。

東京都では、12月12日に“都内のインフルエンザ「流行注意報」”を報道発表しました。昨年より3週早い注意報基準超えです。

* インフルエンザ定点
419か所(全国約5,000か所)の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。

** 基幹定点
25か所(全国約500か所)の医療機関を「基幹定点」として指定しています。



【全国】患者報告数は47,200人、定点当たり9.52人で、48週(27,393人、5.52人/定点)より増加しました。北海道(25.11人/定点)の他、青森県(21.88人/定点)、富山県(19.31人/定点)、宮城県(19.03人/定点)をはじめとする16都道県で定点当たり報告数が10人を超えています。残る31府県でも、全ての自治体で定点当たり報告数が1人を超えています。

2 インフルエンザ集団発生状況

49週に、学級閉鎖等が205件(保育所46件、幼稚園12件、小学校131件、中学校14件、高等学校1件、社会福祉施設1件)報告されました(図4)。

3 インフルエンザ入院患者発生状況

基幹定点**から49週に21件(5歳未満9件、10~14歳1件、60歳以上11件)報告がありました。

4 ウイルス検査情報

【東京都】47週に、定点医療機関から搬入された検体13件中10件からAH1pdm09が検出され1件からAH3が検出されました。

【全国】病原微生物検出情報(IASR)等によると12月12日までに39都道府県からAH1pdm09が、10都道県からAH3亜型が、16府県からB型(ビクトリア系統15府県、山形系統1県)が報告されています(図5)。

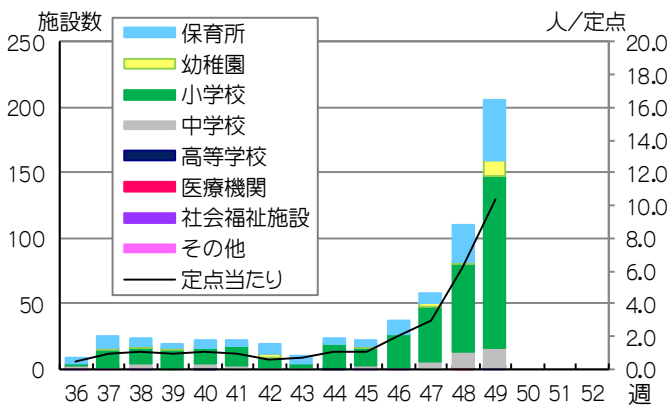


図4.施設別学級閉鎖等集団事例報告数

厚生労働省「感染症・予防接種相談窓口」

厚生労働省が、インフルエンザを始めとした感染症の一般的予防方法、流行状況や予防接種の意義、有効性、副反応等に関する問い合わせ窓口を開設しました。

電話番号：03-5276-9337

午前9時~午後5時 土日祝日、年末年始を除く

(厚生労働省が業務委託している民間会社により運営)

◆東京都インフルエンザ情報◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター
企画調整部健康危機管理情報課
〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL：03-3363-3213

FAX：03-5332-7365

S0000786@section.metro.tokyo.jp

http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/

